

ティラワ特別経済区 開発プロジェクト 概要 (2017年6月28日現在)

ティラワ特別経済区開発概要

開発主体	Myanmar Japan Thilawa Development Ltd. (2014年1月10日設立)
株主構成	MMSTD (住友商事、丸紅、三菱商事、SMBC、みずほ、BTMUの合併) 国際協力機構(JICA) ティラワSEZ管理委員会(TSMC) ミャンマーティラワSEZホールディング社(MTSH)
開発面積	ZONE A 405ha (工業地域 370ha、住宅商業地域 35ha) ZONE B 第一期101ha (工業地域)
開発日程	ZONE A: 第一期 2014年1月着工 / 2015年8月 完工 : 第二期 2014年10月着工 / 2016年7月 完工 ZONE B: 第一期 2017年2月着工 / 2018年半ば 完工
施工者	五洋建設

入居状況(2017年6月28日現在)

契約締結済企業数	83社(日系企業41社) - 68社が着工済みで、その内32社が操業開始済み
国籍別(17の国と地域から)	日本41社、タイ11社、韓国6社、台湾5社、シンガポール4社、緬3社、マレーシア3社、香港、米国、スウェーデン、中国、オーストラリア、ベトナム、インド、スイス、ドイツ、オランダ各1社

入居企業様の主な製造品目、取り扱い製品、事業

建材、インフラ資材関連	コイルセンター、建設用杭、屋根材、セメント、送電線、建設用鉄骨材、コンクリート製建材、建設用塗料 他
食品/飲料/飲料容器	飲料用缶、即席麺、調味料、乳酸菌飲料、ペットボトル、魚肉加工、食用油 他
縫製関連	婦人下着、工業用手袋、シャツ、ぬいぐるみ 他
農業関連	農業用トラクター、精米機、肥料
自動車関連	自動車組立、熱交換器、自動車用ゴム部品 他
その他	音響機器、紙製品、産業用ガス、カメラ三脚、医療機器、医薬品、物流(保税倉庫/冷凍冷蔵倉庫)、データセンター 他

団地内インフラ

上下水プラント(当初能力:浄水6,000MT/日、下水4,000MT/日)、33KV配電網、光通信回線、産業廃棄物処理場、職業訓練校、物流センター、ワーカー用住宅 等々

貸工場

1,500㎡/ユニットで、9ユニットが完成済み(内、7ユニットは契約済み)。将来増設予定。

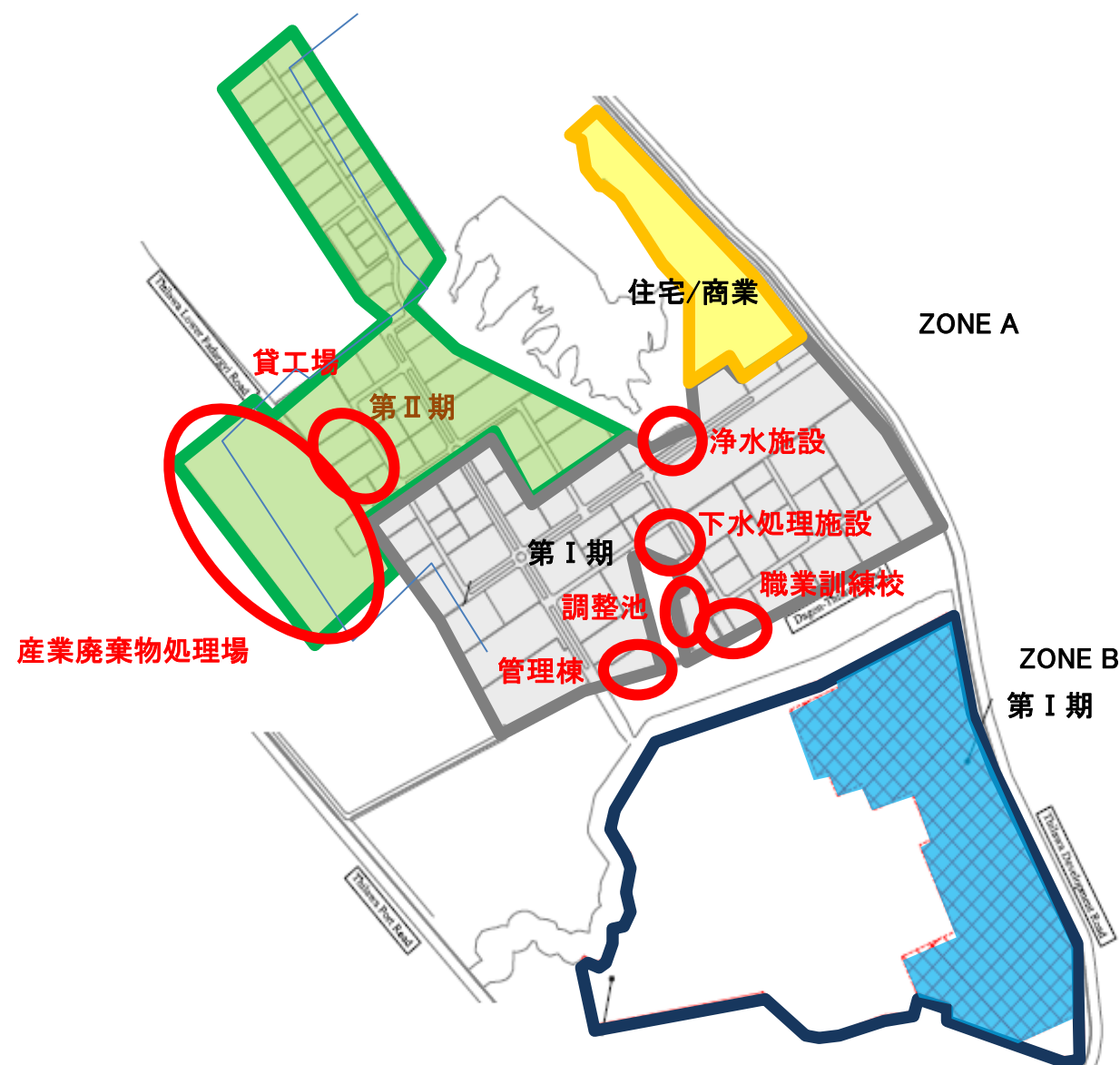
ティラワSEZ管理委員会 ワンストップサービスセンター

SEZ管理棟内に立地。会社設立前、設立後の諸手続の総合窓口(輸出入申請、ビザ発給申請も受付)。

周辺インフラ:日本の円借款により、下記インフラ整備が進行中

✓発電所(50MW)	完成済み/稼働中
✓変電所(300KVA)・送電線(230KV/33KV)	着工済み/2017年9月頃に完成予定
✓コンテナ港	着工済み/2018年に完成予定
✓SEZまでのアクセス道路	未着工/2018年完成予定
✓ラグンビンダムから送水管	未着工/2019年完成予定
✓バゴー橋	未着工/2021年完成予定

✓ティラワ特別経済区ZONE A及びZONE B区画概略図



✓お問い合わせ先

Myanmar Japan Thilawa Development Ltd. 梁井 崇史 (やない たかし)
電話: +95-92-5038-9030、E-mail: takashi.yanai@sumitomocorp.com